

(ご参考) 「現在困っている問題」についての具体的回答

4月期生がいつ入国できるのか見通しが立たない。収束のめどが立たず、学生の募集活動ができない。
各国の銀行より学費の送金ができない国もある。双方向のオンライン授業を行いたいのが器具を揃えるのに負担がかかる。10月生の募集が全くできていない。
退学者・退学検討者が増えている。一時帰国中で日本に再入国できない在校生が数名いる。新生入生がいつ入学できるかわからず、このままの状態が長期化すると学校運営を継続することが困難。卒業生の帰国の目途が立たない。一時帰国で日本に來られない学生の家賃の滞納が続いている。
4月生の入学時期の見込みが立たないこと。経営上の影響も大きいので。
4月新生の学費がまだ支払われない オンライン授業について学生側の環境が整わないため難しい。学生のアルバイト時間が減っている
オンライン授業をやりたいが機器の導入が出来ない。
オンラインの授業を検討しているが、テレワークに移行している企業が増えている為、機器不足の為導入が困難な事と今後キャリアのwifi通信制限がかかる可能性が高い。在校生に休校中課題提供しているが、出席として取り扱ふ事はできないか？日本語学校には学生と教師とその家族を守る義務がある。
非常勤講師の給与支払い コロナウィルスの影響で4月生は入国できず、10月期生の募集は各国でコロナウィルスの影響が出ているため募集活動が出来ないので、学生を確保できない。
4月生の入国の目途が立たない
EJUやJLPTなどの実施の有無、または延期による開催時期を決めてもらいたい(難しいことはわかっているが)
非接触体温計が入手できない。
4月生が入学できず困っている。10月申請が思う様に出来ない。
学費未納が多くなっている。卒業生の帰国の目途が立たない。アルバイトがなくなった生徒が出ています。在籍管理が難しい。
学生のアルバイトが激減し、金銭的に困窮している。政府の出している支援策も在留外国人を対象としていないと思われる。現状、在校生の中でコロナに感染したというものは無いがいつ出てくるかわからない。苦肉の策でオンライン授業を実施している。学生には概ね好評だが、授業料をもらえるレベルではない。逆にこれで通常の授業料として落としたりクレームになりそう。他の学校は出席停止中の授業料はどうしているのか知りたい。
オンライン授業を行いたい、うまくいかない。
アルバイトの時間数が減っている為学費延納の相談が多くなっている。オンライン授業についても導入準備しているが学生側のインフラの面ですぐに対応できない。
4月期生の未入金者も多く、10月生の募集については何も見えず、閉校の可能性も感じている。
今後の海外募集が心配、特に入国、出国制限はいつ解除されるのか？
卒業生の帰国の目途が立たず、入学予定者もなかなか入国できません。このまま継続したら、4月期生から入学辞退者が出かねません。
1)中国及びベトナムの学生19名の入国の見込みが全く立たない。2)中国の学生は授業料は日本に入国してから授業料が発生する形としてほしいと言っている。3)オンライン授業を検討しているが、現在日本にいる学生のアパートにはインターネット環境がないために行うことができない。 ①入管庁などから日本語教育機関に対して、休校すべき、すべきでないの指針が出ないのが不安。(日本語学校側からの質問に答えるという姿勢)日本語能力試験の実施は予定通りの実施が決まり、今後多少収束傾向になった場合に、授業再開の判断が難しくなる。②アルバイトの減少により生活が困窮する上、帰国したくてもできないという状況になることに不安がある。
卒業生から進学先学校からの情報が少なく、問い合わせる。在校生に、不安やバイトなどの心配は無い。10月期生の募集がまったくめどがつかない
4月生が入国できないことが心配
新生入生の来日の目途が立たない
4月生が入国できる日を待ち望んでおります。コロナ騒ぎが落ち着き、受け入れできる日を待望しています。
5月学校が開けるかどうか心配です。
今後学費未納が出てくると思われる。オンライン授業のための機器の導入ができないと、非常勤講師で拒否する人が出てきている。学生の授業への不満が退学へ結びつく可能性がある。
新生入生のため、学生宿舎を準備しているが、入居時期の目途が立たない。
一時帰国をして日本に入国できない学生もオンライン授業に参加しているがこのような学生は授業に出席しているとみなされるか
卒業生の帰国の目途が立たない。学生の精神不安。
対応のもので困っていることはないが、対応方針の決定に苦慮している。小中高の休校を都道府県が決めるように、休校にすべきどうかを出入国在留管理局に指針を出していただきたい。
これから、学費の滞納が出てくるのではと心配。そもそも4月生の入国ができるのかどうか不安。
オンライン授業に関して機器不足もあり都のIT助成等を検討中。
果たして5月7日から授業再開できるのかまた、2020年4月期生の来日がいつになるのかが心配

<p>新入生・在校生双方に向けてのオンライン、教師の負担が過重になっている。</p> <p>1.2020年4月期生にまだ学費未納者が約20%いる。2. オンライン授業をやっているが、設備、機器の問題か、画像、音声質が悪い。3. 卒業生2名が帰国できていない。帰国まで日本語学校の管理責任になっているが、帰国の目途が立たない状況なので、不安である。4. 毎日オンライン授業で学生も、教師も精神的に疲弊している。5. 学校の経営状況が非常に厳しい。</p>
<p>10月生の募集が全くできていない。</p>
<p>10月生の募集が全くできていない</p>
<p>先が見えなくて、不安。</p> <p>4月生の認定証の有効期限を過ぎてても入国制限が解除されなかった場合、期限を再延長してもらえるのかどうか確約が欲しい。でなければ10月生に再申請となってしまい、4月入学者が激減する。</p> <p>学生達はこの状況に一定の理解を示してはいるものの、アルバイトの減少や本国の状況など不安材料は山積みです。一律給付金の件はおおよそ確定だと思えますが、あくまでも補正予算が通った後でなければ安心して周知する事が出来ません。せめて金銭面だけでもなるべく早く周知したいと思っています。</p>
<p>教職員の雇用維持について</p>
<p>学生寮を持っています。その維持などが大変です。オンライン授業による機械投資が大きい</p>
<p>オンライン授業は通常の授業と異なるので割引をしてほしいと学生から要望が出ている。補講対応を検討しているが、長期休みが無くなるため、学生の生活費や学費が心配である。</p>
<p>学生の精神不安</p> <p>新型コロナウイルスの感染及び終息状況が現段階では全く把握できず、今後の学校運営の具体策について明確な方向性を打つ出すことができない。また、在校生も学校生活はどのように展開されていくか全く不透明であり、精神的にも不安定になっている。新入生に関しては本当に入国し、学校生活を始めることができるのかについて、大きな不安を持っており、それを学校として解消する方法があまりない。</p>
<p>4月生が入国できなかったため寮の空きが多く、その分の経費が発生</p>
<p>新入生がいつ入国できるか。在校生をいつ登校させられるか見通しが立たない。</p> <p>①在校生の帰国増加に伴い返金対応が増加していること。②卒業生の帰国の目途が立たないこと。③授業がオンラインになり、初級レベルの学生など、聞き取りが不十分な学生たちの習得に不安が残ることや、本来の授業よりも時間が少々短縮されるため、そこについて学費の返金を求める声が相次いでいること。</p>
<p>在校生で帰国を決める学生が次々と出て、返金が多くなっている、卒業生の帰国のめどが立たない</p>
<p>新入生・一時帰国者の入国の目途が立たない</p>
<p>今年度の経営の見通しが立たない。</p>
<p>入国制限を続けるのであれば補償をお願いします。</p>
<p>4月生入国待機者の今年度中の進学・就職の可能性。在校生の我慢の限界。非常勤講師の待機状況。キャンセル返金処理やオンライン授業に追われる専任教職員の精神状態。</p> <p>1. 卒業生の帰国日程の未定。2. オンライン授業のネット環境及び設備(学生、教師)。3. 感染拡大による学生の帰国か続けるかの判断の難しさによる精神的な不安。4. 7月期COE交付後の対応。5. 10月生申請者の資料準備の遅れ。6. 退学者の授業料、寮費の返金。7. 個人情報取り扱いによるテレワークの難しさ。8. 教室での授業の再開の時期の判断等</p> <p>学生の精神不安等を把握しにくい。対面授業の場合は、普段の学生の様子から確認でき、適宜対応が可能だったが、今は遠隔授業のみなので、把握が難しくなっている。</p>
<p>休学への入管の方針、学生の動向の不安定さ、新入生へのネット授業の不認可、教師のPCRテラシー、学生への手当て</p> <p>・オンラインレッスンが行っていますが学生のネット環境や端末により参加できない学生もいます。・学生の精神不安。・オンライン授業での授業の質の維持。・オンライン授業に伴う一部学生のモチベーション低下。・オンライン授業に伴う講師の疲労(腰痛など)。・学生の出席管理。</p>
<p>オンライン授業をやりたいが、学生側が対応できない</p>
<p>学費未納が多くなっている。9割以上の新入生が入国できないままである。学生のアルバイトが少なくなっている。</p>
<p>卒業生の帰国の目途が立たない学生の精神不安等。</p>
<p>一時帰国中の学生や未入国新入生がオンライン授業参加の際の出席率管理</p>
<p>対面催促ができない為、学費未納が多い</p>
<p>卒業生の帰国の目途が立たない。</p>
<p>学費未納者がいる。 オンライン授業の学生側の環境が不明</p>
<p>卒業生の帰国、アルバイトがなくなっている問題、4月期生認定証明書の交付において保留になっている事。</p>
<p>学生が勉強の遅れを心配している。</p>
<p>学生と直接会えない状況で、生活的不安や精神的不安に対する対応を検討する必要がある</p>
<p>新入生の入国の目途が立たない状況下で、非常勤がそのまま勤務してくれるのかどうか。</p>

学費未納。留学生がアルバイト先からコロナを理由にかこ解雇されている。
アルバイト先が休業となっていることに加え、本国の経費支弁者も収入減となり不安を抱えている学生が増えている。
現状は要請に答えています、今後の学生の精神的な不安や学費返納が表面化することが心配です。
オンライン授業をやりたいが、学生が持っている機器がスマートフォンのみなので、画面が小さすぎるために困っている。
日本語学校向けのWEB授業ツールがないので困っている。
春休み期間中に一時帰国したまま本邦上陸拒否により再入国できない在校生があり、このままだと在留期限が過ぎてしまいCOE再申請となりそうだが、仮にCOEが出ても現地大使館で査証申請を受け付けておらず結局入国ができない可能性がある。そうした学生の学習の継続(3年目を可能とするなど)について柔軟な対応を求めたい。
いろいろありますが、2年の進学について、文科省を通じて受け入れ高等教育機関に入試および学費納入について弾力的な対応をお願いしたい。
環境上、遠隔授業が全ての学生に提供できない(現状課題提供と併用)。今後の学校運営。
・一時帰国している在校生が日本に戻れなくなってしまいました。・新入生が来日できない状況にあり、来日できたとしても授業料の一部返金の必要がある。・マスクや消毒液、体温計などが手に入らず、学生も職員も不安に感じている。・学生のアルバイトが減少して(または完全に)なくなっている。・在校生の授業料、寮費が未納となる恐れがある。・新入生用の寮として準備していた部屋が空き部屋になってしまい、学校の家賃負担が増加している。・授業や行事、夏休みなどの学校のスケジュールが全く立てられない。
学費返納の問い合わせが多くなってきている。
4月生入国の目途がたたない
学費の海外送金ができない。オンライン授業をやりたいが、機器の導入ができない。授業が実施できないため、学生の日本語能力への影響が不安。新入生の入国の目途が立たないため、学校経営が不安。非常勤講師に対する補償ができない。学費返却せざるを得なくなった場合、学校経営に破綻をきたす恐れがある。
少しずつ学生のアルバイトの時間が減らされているので、生活が持続できるか心配だ。
2020年度4月期生の入学の目途が立たない。2019年度4月期生の2年目の学費未納者が40%程いる。
学費未納が多くなっている。
在籍生の来日の目途がたたない
新規学生の入国ができないことは、困っています。
学費未納が多くなっている。卒業生の帰国の目途が立たない。学生の精神不安等。
学費の未納、アルバイト時間の減少
一時帰国している在校生が日本へ帰ってこられない。学生のアルバイトが減って生活に困っている。学生の勉学に対するモチベーションが下がっている。非常勤講師が仕事なくて困っている。
在校生に関しては、飲食店を中心にアルバイトの勤務時間が削られている為、この状況が長期化した場合は、学費や生活費の捻出が困難となること懸念される。・海外のやや誇張された日本の現状に関する情報により、本人はもとより母国の家族も心配しており、精神的に不安な状態が続いているようである。・休校期間中の授業の補講にオンライン授業等の導入を検討したが、導入にあたり必要な機器や学生のネットワーク環境から難しい状況である。・新入生の入国の目途が立たない為、入国遅れ分の補講計画が日程上難しい。・入学時期を変更し、新入生を受け入れたいが、理由書(新型コロナウイルスによる影響)と共に再申請することに不安を感じている学生が多い。・入国できた場合、感染防止対策として入国後2週間の自宅待機期間を設けるが、その間に学校として対応すべき範囲はどこまでか。・卒業後帰国予定である学生について、航空券の購入が困難であるため、帰国の目途が立たず待機を余儀なくされている。・卒業生が進学のため他県へ引越す際、バスの利用を希望していたが、連休のため新幹線を利用しなければならず、交通費に関しても学生の出費がかさんでいる。
アルバイトのシフトが少なくなる、なくなっている。学生の精神面が心配に思う。
オンライン授業に係る費用、学生のアルバイト減による収入不足⇒学費未納が増える恐れ
空港閉鎖のため、3月で退学した学生と卒業生の帰国の目途が立たない。
新規問い合わせが激減し、在校生の早期退学が発生している。オンライン授業を実施するにあたり、学校、学生双方の経済的、人的負担が大きい。
在校生の授業開始の目途が立たない、新入生の入国の目途が立たない
学生、職員をコロナ感染から守るためにはオンライン授業の継続が最善だが、コースづくりや授業スキルのノウハウ研究に費やす時間と費用を捻出することが、大幅な減収を余儀なくされている現状では難しい。早急な補助金の支援が必要
5月からオンライン授業をするが、やはり対面授業のようにはいかない、機器の導入が時間的・資金的に困難(それでもしなくてはいけないので大変)、対面を希望する学生にとっては不満、優秀な教師にでも十分な授業時間数を確保できない、学生がアルバイトできない、等々
オンライン授業において、生徒が日本語を実際に書いた際、その確認はどのようにされているのか、ベンチマークできる事例があれば教えてくださいませんか？
①新入生の寮の確保のための費用、いつになるかわからないので、払い続けている。②非常勤講師への補償③在校生の不安状態がづつづつあり、対応が難しい
春休みに帰国した学生が再入国できない。その場合の詐称について学生が不安に感じている
入国拒否がいつ解除されるのかが分からず、新入生の入国の見込みがたたない。
学費や家賃の納付の遅れ、入学キャンセルなど

学生のアルバイトの時間が削られている
①4月生入国の目途が立たず計画が立てられない。契約している学生寮も空家賃を支払わなければならない。②学生の帰国目途が立たない。学校を退学しているためアルバイトもできない為、無償で学校の寮で待機させている。生活費だけが掛かり、帰国の飛行機チケットも買えない。
入国未定者のキャンセル増加懸念と2021年7月生までほぼ学生募集数は予定をはるかに下回る予測とともに教職員給料の問題を抱えています。
卒業生が帰国するはずの便が運休になり、帰国できず、当然アルバイトもできないため生活費が足りなくなっている。
学生の生活が困窮。オンライン授業の機器導入ができない。
オンライン機材の導入(学校側、学生側)が技術面資金面で難しいこと、収束時期が見えないため具体的な予定が立てづらいこと
オンライン機材の導入(学校側、学生側)が技術面資金面で難しいこと、収束時期が見えないため具体的な予定が立てづらいこと
新生生の入国がいつできるかわからない。常勤・非常勤講師をいつまで休ませたらいいのか、いつ授業が再開できるのか、まったく正式の通知、連絡、指示などが無いので困っています。どこにこのようなことを問い合わせをしたらいいのかわからない。
新生生の入国、および送金のめどが立たない。
非常勤講師の補償をどうするか。授業時間の遅れをどうするか。
緊急事態宣言が発表されたことにより、学生の資格外活動にも多大な影響が出ている(店舗の休業に伴いシフトの大幅な減少など)それにより今後の学費などの納付にも影響が出てくる恐れあり。また帰国便のチケットが購入できないなど考えられる(航空便減少に伴うチケット代の高騰)
早く授業を再開したいです。
学生のアルバイトの減少、マスクの不足、学生寮の空き対策、感染爆発が起こった場合の学生の帰国問題、進学先の進学相談会やオープンキャンパスがキャンセルされていっている、留学試験・能力試験は実施されるのか、学生の健康管理のアプリがほしい
オンラインの設備
オンライン授業をやりたいが、学校・学生共に機器や環境が整っていない。4月末入国規制の解除がなければ、もっとキャンセルが増える。在校生で一時帰国していた者が再入国できないことも問題。アルバイトができていない在校生も多く、生活費が心配。
①バイトの収入減で学生の留学生活にダメージを与えている。(生活費や学費の支払いが難しくなる) ②EJU・JLPTの受験は予定通りできるかどうか。できなければ、出願準備はどうするか ③就職したい学生は就活ができなくなったり、就職先が見つからなくなったりする ④不確定要素が多いため、カリキュラムを組むのが大変
オンライン授業をしたいが、学生の住まいのネット環境が同一でない。パソコンを持ってない学生がいる
日本への入国拒否措置が取られることを受け、慌てて現地で査証を取得せずに短期滞在で入国した新生生がいる。国内での資格変更許可を認めて欲しい。
日本語能力検定試験や、看護師国家試験のような資格に関する試験が予定通り実施されるかが疑問。生徒が入学できないので、学費が入らず経営が不安。
未入国の新生生たちへのケア(不安解消など)
学費未納が多くなっていて、学生の生活も非常に困ります
新生生の来日の目処が立たない。
2020年4月生の入国スケジュール調整が難しい
卒業生の帰国の目途が立たない。
学費支払いが予定どおりにできそうにないとの相談がきていること。オンライン授業を予定しているが、家でのインターネット環境がない学生がいること。
授業が進まないこと、新生生の入国目途が立たず授業進捗が遅れ学費返還の可能性が出ていること
4月期生の受け入れや10月期生の募集の目途が立たない。
休校期間中、学生に一斉連絡を取りたいが、学校として一斉連絡ツールを持っていないため、携帯電話、E-mail、SNS等を使い分けてそれぞれ送らなければならない。
入学のめどがたたない4月生の対応を他校様がどのように行っているのか教えていただきたいです。
卒業生で帰国できていない学生が数名いる / アルバイトの減少により、5月以降生活の目途が立たない学生が増加すると思われる / 休校中で学校に来れない状況のため、SNS等を用いた対応だけで学校が学生の不安を取り除くことに難しさを感じている / 入国できていない4月期生が入学時期を10月期に変更(*本校は7月期なし)する場合、10月入学を希望する新規申請者の受け入れが定員の関係で出来なくなっている。
4月生の入国の目途がたたない
母国の金融機関がストップしているので学費を支払えない学生がいる。オンライン授業も検討しているが、日本語能力が低い学生のクラスはオンラインでは理解できない状況が発生することが予測できる。どのような体制でオンライン授業をすることがベストなのかが分からない状況。また、日本語能力検定や留学試験、受験などの対策授業が困難。
何といても経営継続の不安と学生へ生活、健康不安をどうやって和らげることができるかです。
在校生のメンタルフォロー、クラスター等発生時にどのように対処したらいいか、在校生のコロナ以外の急病への対処等
長期化に伴う退学や休学増加の懸念、学生の経済状況悪化や精神不安の懸念
①学費納付困難の学生が多い、②一時帰国中の学生はなかなか日本に戻ってこれない ③オンライン授業に、一時帰国中の学生が参加できない(現地のネット制限事情など) ④新生生がいつ入国できるか目途が立たない。⑤留学生のアルバイトができない可能性がある。

5月7日よりオンライン授業を行う予定だが、対面授業と相当効果にならず、授業の成立について不安。

4月生の次時期が不明。2週間待機期間の宿泊費が負担となっている。学生の不安を払拭できない。オンライン授業をしたいが、すべての学生が通信環境を確保できるとは限らない。

オンライン授業をやりたいが、機器の導入ができない。アルバイトがなくなり、生活が難しくなっている。

2020年10月期生の募集活動を行いたい、海外に行く事も出来ず全く活動ができないこと。

早くからロックダウンしている国の学生は、海外送金できずに困っている。新入生については、入国できないため、今後の予定が当面たたない。

申請者が入国できず、現在では4月生が7月に入国する段取りになっている。しかし、7月生も交付されど入国できず、という状況になった場合、10月に全ての学生が入学することになる。1年分の学生が1度に入港した場合の、対応できるリソースがあらゆる面で不足している。

新入生の入学が心配

学費未納者が出てきている。オンライン授業に伴う設備が整っていない。

オンライン授業のやりかたがわからない